



関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港
定期便 週間計画便数（10月30日～11月5日）

関西エアポート株式会社は、2022 年 10 月 30 日から 2022 年 11 月 5 日の運航計画便数（定期便の出発便数）をお知らせいたします。（10 月 21 日時点の情報であり、今後変更となる可能性がございます。）

【国際旅客便 週間計画便数（出発）】

14 か国（地域）22 都市へ運航予定

（便/週）

地域	10/30～11/5 計画
韓国	155
中国	5
香港・マカオ	31
台湾	36
東南アジア	76
北米	1
ハワイ	8
欧州	5
中東	6
オセアニア	2
グアム	2
その他	0
国際線旅客便 合計	327

【国内旅客便 週間計画便数（出発）】

（便/週）

	10/30～11/5 計画
KIX	488
ITAMI	1,294
KOBE	266
合計	2,048

【貨物便 週間計画便数（出発）】

（便/週）

	10/30～11/5 計画
KIX 国際貨物便	170
KIX 国内貨物便	0
ITAMI 国内貨物便	0
貨物便合計	170

（注）

- 数値は全て関西エアポート調べによる
- 旅客便数は、旅客便として申請されている便を集計（貨物のみの輸送を行う場合もある）

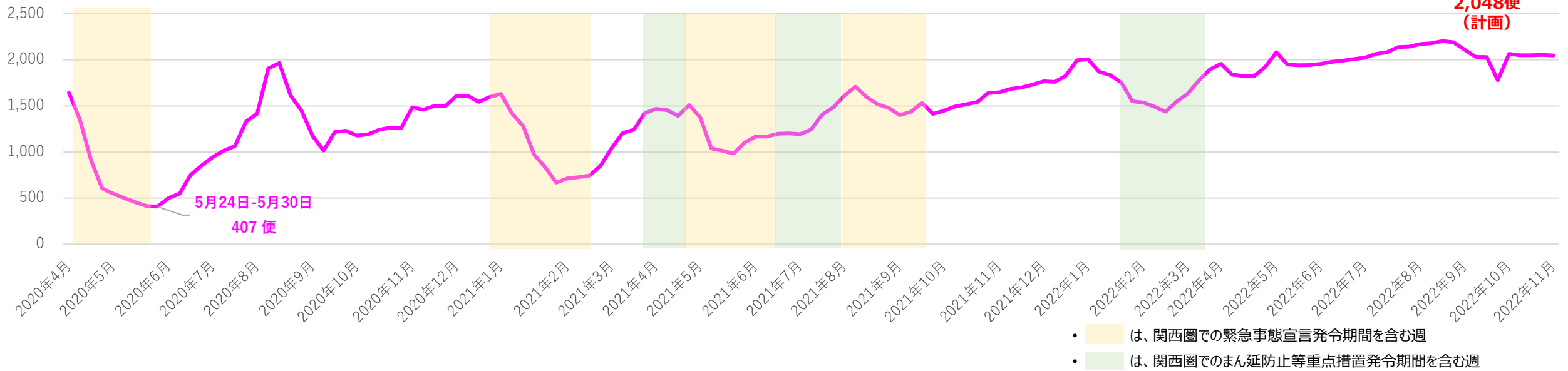
【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社 グループコーポレートコミュニケーション部

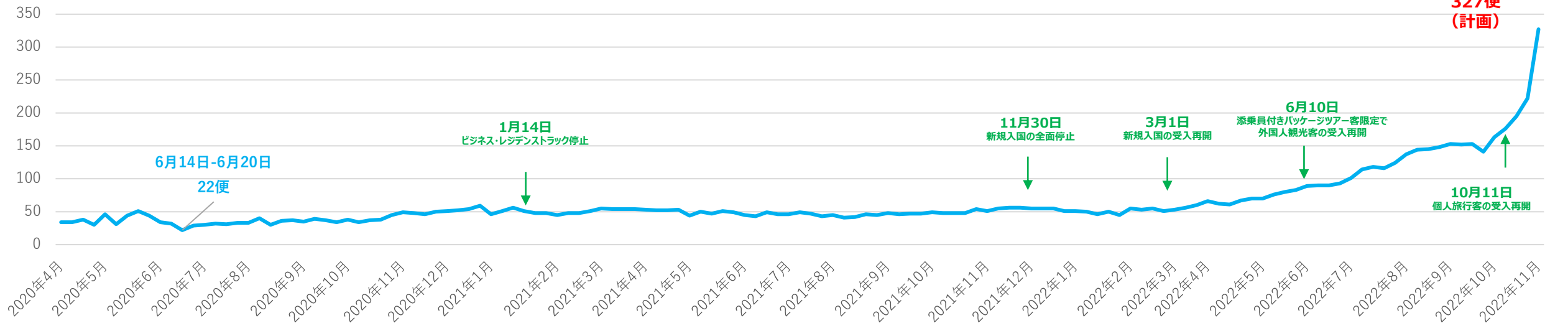
パブリックリレーション

Tel : 072-455-2201

関西3空港 国内線定期旅客便 週間便数



KIX国際線 定期旅客便 週間便数

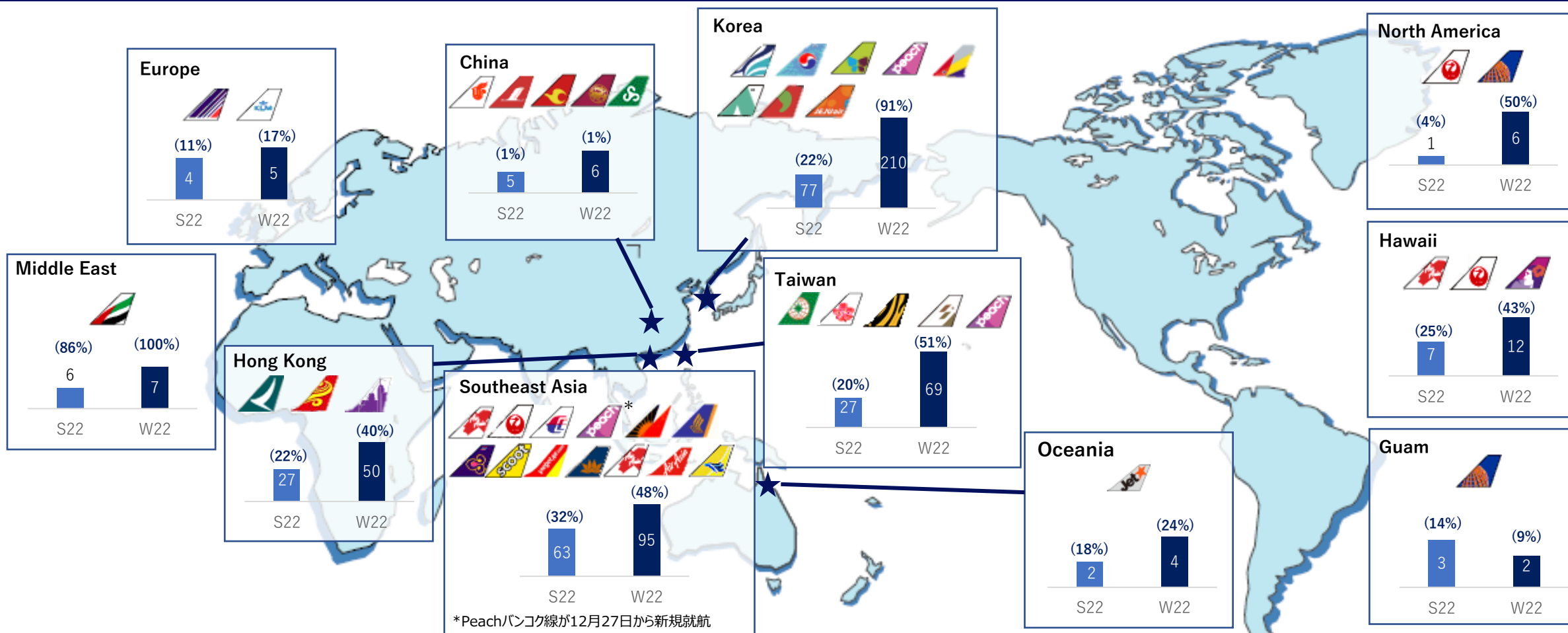


国際旅客定期便 2022年冬スケジュール想定便数

KIX 国際線 (週あたり便数)

S22 : 222便 (S19比回復率15%)

-> W22 : 466便 (W19比回復率33%)



- S22 は2022年夏スケジュールの直近の便数 (2022年10月16日-10月22日)
- W22 は2022年冬スケジュール想定便数 (2023年3月5日-3月11日)
- グラフ中 () 内の数値は2019年夏/冬スケジュール比較の便数の回復率



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界約 30 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、＜オリックス＞という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の 12 カ国において 53 空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者と先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構